

第11回 高崎学検定

令和5年10月21日（土）



—— 問題と解説 ——

制限時間 90分

問 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名山は、50万年くらい前に地層を貫いてマグマが噴出し火山活動が始まり、およそ25万年前に富士山に似た2500メートルくらいの成層火山になりました。

その後も火山活動は続き、山頂部の陥没などで山頂カルデラが形成され、およそ3万年前、山頂カルデラのほぼ中央に【ア】などができました。

【ア】には山頂に小規模な噴火口ができ、火山灰や噴煙を噴出しました。

気象庁では、火山活動のリスクの高い順にAランク（浅間山、阿蘇山など）、Bランク（草津白根山、富士山など）、Cランク（赤城山、日光白根山など）、ランク外と4種類に分類しています。

榛名山は【イ】に分類されます。

ア（1）榛名富士 （2）相馬山 （3）二ツ岳 （4）水沢山

〔正解 1〕

イ（1）Aランク （2）Bランク
（3）Cランク （4）ランク外

〔正解 2〕

●解説

火山活動の面からみると、2018（平成30）年に噴火した草津白根山が、榛名山と同じBランクとは意外な感じを受けます。

火山とは、約170万年前から現在までに作られた山で、日本には245山あります。火山の長い歴史からみると、榛名山の6世紀ごろの噴火活動は、つい最近の活動だといってもよいでしょう。

問 2

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

吉井町の中心部は鑓川によって形成された【ア】上にあります。南にはほぼ同じ高さの緩やかな多野山地が続きますが、特に、朝日岳、城山（八束山）、【イ】は「吉井の三山」と言われ、低丘陵からなる美しい山並みが広がります。入野小学校の校歌制定にあたり、ここを訪れた作曲家服部良一は青々と広がる山並みの美しさに感動し、【ウ】の着想を得たとも言われています。

【イ】の頂部東端には展望台を兼ねた【エ】が建てられていて、360度のパノラマを楽しむことができます。

ア（１）断層 （２）河岸段丘 （３）扇状地 （４）沖積平野
〔正解 ２〕

イ（１）牛伏山^{うしぶせやま} （２）観音山 （３）中山 （４）金山
〔正解 １〕

ウ（１）リンゴの唄 （２）青い山脈
（３）若者たち （４）雪山讃歌
〔正解 ２〕

エ（１）電波塔 （２）観覧車
（３）温泉センター （４）模擬天守
〔正解 ４〕

●解説

吉井地域を流れる鑓川は元は吉井の市街地や多胡台地、長根台地を流れていましたが、地盤の隆起に伴い、南から北へと徐々に移動し、現在の流路となりました。このため、市街地から南にはその名残りである河岸段丘を広く見ることができます。

「吉井の三山」と称される牛伏山・城山（八束山）・朝日岳は多野山塊の一部で、海拔400から500メートルの山頂には平井金山城（藤岡市）、一郷山城、八束城、天引城、国峯城（甘楽町）などの山城が東西方向に列をなすように築かれています。

この内、一郷山城跡には三層からなるコンクリート製の模擬天守が建てられていて、最上階からは360度の眺望を楽しむことができます。一帯は「牛

伏山自然公園」として整備されており、遊歩道沿いには牛伏山の名前の由来とされる、「牛伏山の牛」の石像や服部良一、西条八十両氏の揮毫による「青い山脈」の歌碑が建てられています。

問 3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

岩野谷丘陵の東を流れる、烏川右岸の根小屋町～寺尾町間の沢や川の中には、集落や耕作地より高い位置を流れ烏川に流入するものがあります。これらは【ア】と呼ばれます。中でも高崎市立寺尾中学校南方を流れる伊沢川は、昭和50年代まで川底下を道が通っていました。

東京農業大学第二高等学校北側を流れる大きな【イ】もこのような川です。

この一帯は、河川改修や田畑の構造改善により両岸に頑強な護岸が築かれ、河川渡河部は山なりに整形され頂部に橋が架かっています。

ア (1) 高架川 (2) 天井川 (3) 二階川 (4) 屋根川

〔正解 2〕

イ (1) 金井沢川 (2) 雁行川^{がんぎょうがわ} (3) 太夫沢^{たゆうざわ} (4) 薬師沢

〔正解 2〕

●解説

岩野谷丘陵から東に流れ、烏川右岸根小屋町～寺尾町間の低地部を通過する沢や川には、集落や耕作地より高い位置を通過して烏川と合流するものがあります。これらは天井川と呼ばれます。

この内高崎市立寺尾中学校南方を流れる伊沢川は、昭和50年代まで川底下を道が通る天井川特有の景観が見られました。また東京農業大学第二高等学校北側を流れて低地部に出る大きな雁行川も天井川です。

天井川の一帯は、河川改修や田畑の構造改善により両岸に頑強な護岸が築かれています。河川渡河部は山なりに整形され頂部に橋が架かっています。

問 4

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

倉渚町川浦の浅間神社、大【 】は神社参道口にあります。幹はやや北側に傾斜し、地上1.3メートルの所で3本に幹わかれしています。樹高は約11メートル、目通り太さ約3.1メートルで県内でも上位に入る落葉樹の古木です。参道にあることや太さから樹齢350年程と推定され、市指定天然記念物です。

- (1) カエデ (2) クヌギ (3) ケヤキ (4) クリ

〔正解 1〕

●解説

倉渚町川浦の浅間神社の大カエデは神社参道口にあります。幹はやや北側に傾斜し、地上1.3メートルの所で3本に幹わかれしています。樹高は約11メートル、目通り太さ約3.1メートルで県内でも上位に入る落葉樹の古木です。参道にあることや太さから樹齢350年程と推定されています。市指定天然記念物です。

問 5

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

かつて柴崎町にあった蟹沢古墳^{かにさわ}（4世紀の円墳）からは、明治時代の発掘によって4面の青銅鏡が掘り出されました。このうちの1面である【ア】には、中国の【イ】（西暦240年）とみられる年号が刻まれています。中国の歴史書によれば、239年に邪馬台国^{やまたいこく}の卑弥呼^{ひみこ}が初めて【ウ】に使いを送ったため、翌240年には、同国の皇帝から鏡百面を含む多量の下賜品が倭国に贈られたとあります。蟹沢古墳の鏡はその年号から、まさに卑弥呼が受け取った鏡の一面とみられます。そして、卑弥呼もしくはその後継者と深い関係を有した高崎地域の豪族に、同盟の証として配布されたのです。

- ア (1) 画文帯神獸鏡^{がもんたいしんじゅうきょう} (2) 三角縁神獸鏡^{さんかくぶちしんじゅうきょう}
 (3) 内行花文鏡^{ないこうかもんきょう} (4) 五鈴鏡^{ごれいきょう}

〔正解 2〕

- イ (1) 景初^{けいしよ}三年 (2) 和銅^{わどう}四年 (3) 辛亥^{しんがい}年 (4) 正始^{せいし}元年
〔正解 4〕
- ウ (1) 後漢^{ごかん} (2) 呉^ご (3) 魏^ぎ (4) 隋^{ずい}
〔正解 3〕

●解説

蟹沢古墳出土の「□始元年」銘がある三角縁神獸鏡^{さんかくぶちしんじゅうきょう}（中国製）は、日本の古墳時代の開始年代を定めるための基準資料です。「□」の部分は割れて失われていますが、「始」が2文字目に来る中国の年号は、「正始」しかなく、正始元年は西暦240年に該当します。

『魏志倭人伝』には、その前の年（239年）に倭の女王卑弥呼が初めて中国の魏に遣使した記録が残ります。『倭人伝』によると、翌年240年には魏の皇帝から答礼の使者が倭に遣わされ、絢爛豪華な各種織物・金・大刀・銅鏡百枚・真珠・鉛丹などが贈られたとあります。蟹沢鏡にはまさにその年号が刻まれており、下賜品の鏡は列島各地の古墳から出土する三角縁神獸鏡であることが推定できます。

卑弥呼が247年頃に没すると、その直後に巨大前方後円墳が出現し、古墳時代が始まったと考えられます。三角縁神獸鏡はそうした前方後円墳などから出土します。卑弥呼がもらった鏡が、240年以降に連合する豪族に配られたのでしょう。このように蟹沢鏡は、日本古代の年代特定にあたって極めて重要な基礎資料となっているのです。

問 6

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

古墳時代には、外来文化の影響を受けて多くの産業が興りました。その一つとして、有用な動物である【ア】の生産開始が挙げられます。剣崎町の剣崎長瀬^{ながとろにし}西遺跡からは、朝鮮半島系土器、金の耳飾り、【イ】といった渡来文物とともに、【ア】の墓も見つかりました。このため【ア】の生産は、地元豪族が高崎地域に招聘した渡来人によって推進されたと考えられます。これらの出土品の系譜から、渡来人の故地は朝鮮半島南部の【ウ】であると推定され、高崎地域の5世紀の豪族がこの地との外交ルートを有していたことが明らかとなりました。

ア (1) 牛 (2) 馬 (3) 羊 (4) 豚

イ (1) 積石塚^{つみいしづか} (2) 木棺墓 (3) 石棺墓 (4) 周溝墓^{しゅうこうぼ} [正解 2]

ウ (1) 百濟^{くだら} (2) 高句麗^{こうくり} (3) 大加耶^{だいかや} (4) 新羅^{しらぎ} [正解 1]

[正解 3]

●解説

古墳時代には、「倭の五王」とよばれる代々の5人の大王たちが中国に使いを送り、南朝宋の傘下で東アジア外交を繰り広げました。あわせて、朝鮮半島にあった高句麗・百濟・新羅・加耶といった国々とも交流し、また争いました。

そうしたなかで、特に百濟・加耶から多くの学者や技術者が倭（日本）に招聘されました（渡来人と呼ばれます）。渡来人を配下に抱えたヤマトや地方の豪族たちは、その力を借りて、治水技術を高めて農業経営を刷新するとともに、多様な新産業を発展させました。

高崎地域を含む東国で最も重視されたのは、馬の生産でした。馬の登場は、人力から畜力へと動力を転換させる「エネルギー革命」であり、軍事・農耕・運搬・情報伝達の方法を革新しました。渡来人が集団でこの地に存在し、馬生産を推進していた有力な証拠は、高崎市剣崎町の剣崎長瀬西遺跡で見られました。渡来人の指導により、榛名山麓において馬生産が大規模に行われ、そこで調教された馬がヤマトへと送られたのです。それが高崎地域の古代豪族たちの経済力の源となったのです。

問 7

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

国指定史跡保渡田古墳群は二子山古墳、八幡塚古墳、【ア】で構成され、5世紀後半から6世紀初頭に築造された古墳群です。【ア】は墳長105メートルで、3古墳のうち一番新しい6世紀初頭の築造です。この古墳では1683（天和3）年に村人が【イ】を掘り出しました。この【イ】は現在、古墳の墳頂部に置かれ、覆屋がかけられ保存されています。

- ア (1) 観音塚古墳 (2) 観音山古墳
(3) 浅間山古墳 (4) 薬師塚古墳

〔正解 4〕

- イ (1) 家形石棺 (2) 粘土槨
(3) 舟形石棺 (4) 割竹形木棺

〔正解 3〕

●解説

保渡田古墳群は井出町・保渡田町に所在する3基の100m級の前方後円墳で構成される国指定史跡です。3古墳は5世紀後半から6世紀初頭にかけて、二子山古墳、八幡塚古墳、薬師塚古墳の順に築造され、薬師塚古墳では6世紀初頭の榛名山の噴火に伴う火山灰築造の途中に降下し、その後に完成させた状況が確認されています。

3古墳ではそれぞれで舟形石棺が出土しています。石棺は木棺に比べ大型古墳で使用されることなどから、古墳群が地域の中での最上位の首長墓であったことが確認されました。この石棺に使われた石は約12キロメートル離れた岩野谷（観音山）丘陵で産出する凝灰岩で、3古墳の築造の際に運ばれたものになります。

問8

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

上野三碑の一つである金井沢碑（726年建碑）には、当時の豪族層9人の名が刻まれています。このうち【ア】を女性が占め、彼女らの名は全て個人名で記されています。筆頭にくるのは他田君目^{おさだのきみめづら}頼^と刀^じ自^しで、碑を建てた当地の豪族・三家氏^{みやけし}と婚姻した他田君氏^{おさだのきみし}出身の女性です。目頼刀自には【イ】という肩書がつけられており、豪族の大家族を統括する女性であったことが分かります。古代の仏教説話集や出土木簡によると、当時の女性は夫と別に資産を持ち、【ウ】などの事業を行って稼いだり、行政執行権を有する者がいたことが知られます。古代女性の地位は高く、独自に社会に参画していた実態をこれらの資料が教えてくれます。

ア (1) 1人 (2) 4人 (3) 6人 (4) 9人

〔正解 2〕

イ (1) 家主^{いえぬし} (2) 家長^{いえぎみ} (3) 家宰^{かさい} (4) 家刀自^{いえとじ}

〔正解 4〕

ウ (1) 建築 (2) 貿易 (3) 酒造 (4) 製鉄

〔正解 3〕

●解説

奈良時代に建てられた金井沢碑には、碑の造立に関わった9人の人名が刻まれています。そのうち6人は家族であり、「親—子—孫」の系図のように記されています。この6人のうち4人が女性です。後の中世や近世の系図では、女性が排されて男系となる場合が多いですが、金井沢碑では男女の優劣なく配置され、個人名も明記されています。

なかでも「他田君目頼刀自^{おさだのみきめづら と じ}」の名には「家刀自」の立場が添え書きしてあります。「家刀自」とは、家を束ねる女性のことです(*1)。大勢の家族や召使いを抱えた豪族の家政を統括した目頼刀自の誇りをここに見て取ることができます。金井沢碑は、古代のジェンダーを知るうえでも、世界的な一級資料といえることができます(*2)。

*1 なお、「家刀自」と対になる用語である「家長^{いえぎみ}」は、家を束ねる男性を指します。

*2 金井沢碑は、ユネスコ「世界の記憶」に登録されていることから、世界的なジェンダー遺産といえます。

問 9

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

奈良時代に編まれた『万葉集』(全二〇巻)のうち巻一四は、東国を歌った「東歌^{あづまうた}」を集めた巻であり、上野国歌^{こうずけのくにのうた}のなかには高崎地域の【ア】を歌ったものが3首収録されています。【ア】はヤマト王権の直轄地である屯倉^{みやけ}が置かれ、中央と深い関係を有した土地でした。なかでも、この地の【イ】を題材とした万葉歌は、親に交際を阻まれる男女の情熱的な恋歌として知られ、のちの世の清少納言・世阿弥^{せいしょうなごん ぜ あ み}・【ウ】といった偉大な文化人・芸術家たちにも愛されました。

ア (1) 入野 (2) 多胡 (3) 佐野 (4) 井出

〔正解 3〕

イ (1) 街道 (2) 舟橋 (3) 渡船 (4) 宿場

〔正解 2〕

ウ (1) ^{ひしかわ もろのぶ}菱川 師宣 (2) ^{うたがわ ひろしげ}歌川 広重
(3) ^{かつしか ほくさい}葛飾 北斎 (4) ^{とうしゅうさい しゃらく}東洲斎 写楽

〔正解 3〕

●解説

『万葉集』^{まき}巻一四に収録された東歌は、遠江・信濃以東の国々の歌を収集したものです。宮廷の雅な歌とは趣を異にした、東国の人々の素朴で逞しい心情が詠み込まれています。採録された12か国のうち最も多くの歌(25首)が収められたのが上野国です。

上野国歌のなかで、歌枕として最も多いのは「伊香保」(榛名山)ですが、次に多いのが「佐野」であり、高崎市の佐野地区一帯と考えられます。

佐野歌は3首ありますが、なかでも著名なのは「佐野舟橋」の歌です。「上野^{かみつけの}佐野の舟橋 取り放し、親は放くれど、吾は離かるがえ」(上野の佐野の舟橋(*1)を取り放して親は邪魔をするが、私たちは離れるものか(*2))という情熱的な恋の歌です。

この相聞歌^{そうもんか}は、多くの人々の心を打ち、清少納言・世阿弥・葛飾北斎といった時代を代表する芸術家をも虜にしたのです。

*1 橋が掛けられない急流に舟を並べ、その上に板を渡して橋としたもの。

*2 現代語訳は『新編日本古典文学全集 萬葉集三』(小学館)による。

問 10

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

927（延長5）年に完成した『延喜式神名帳』では、上野国に12社ある式内社のうち高崎市内の【ア】と【イ】が記されています。【ア】は古代から中世にかけて神仏習合が進み、巖殿寺と呼ばれるようになりますが、明治時代になり、神仏分離令によって仏教色が一掃され、【ア】に改められました。社殿（本社・幣殿・拝殿）をはじめとする6棟の建物が国重要文化財に指定されています。

【イ】は江戸時代になると高崎城主に崇敬されました。現本殿は高崎城主の間部詮房が造営に関わり、1717（享保2）年に上棟された建物で、市内最古の神社本殿建築として市重要文化財に指定されています。

- ア（1）黒髪山神社 （2）郷見神社
（3）月波神社 （4）榛名神社

〔正解 4〕

- イ（1）小祝神社^{おぼり} （2）倉賀野神社
（3）八幡八幡宮 （4）山名八幡宮

〔正解 1〕

●解説

『延喜式神明帳』は927（延長5）年にまとめられた『延喜式』の巻9・10で、当時「官社」に指定されていた全国の神社一覧です。この『延喜式神明帳』に記載された神社は式内社と呼ばれますが、上野国内には12社あり、高崎市内では榛名神社と小祝神社が記されています。

榛名神社は境内で、過去に9～11世紀の土師器や須恵器をはじめ、小金銅^{しゃくじょう}仏や錫杖などが発見されており、古代から信仰されていたことが、こうした資料からも裏付けられています。

小祝神社は880（元慶4）年には正五位が贈られ、その後は地域の産土神として信仰されました。江戸時代になると高崎藩主の信仰を集め、1717（享保2）年には現本殿が高崎藩主間部詮房によって造営されました。

問 1 1

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

一般的に、中世に造られた現存する石仏は多くありません。しかし、群馬県内では、鐙川沿岸に比較的多く分布し、現在も見ることができます。

天久沢公園（高崎市吉井町矢田）に保存されている南北朝時代の地蔵尊は下の写真の【 】です。

(1)



(2)



(3)



(4)



〔正解 4〕

●解説

中世の石仏の数は、近世の石仏の圧倒的な量に比べて多くはありません。それでも全国的に見れば、群馬県の中世のものは比較的多くなっています。また、その分布は、中毛に濃密で、北毛・東毛にはあまり見られないという傾向にあります。

石仏が大衆に流行したのは鎌倉時代以降で、南北朝時代以降に急速にその数を増します。そして西毛の石仏の多くは、砂岩、安山岩、凝灰岩製です。しかし、鎭川の右岸段丘上にあたる高崎市吉井町、甘楽郡甘楽町、富岡市などのものは、地元の砂岩を使用したものが多いようです。

天久沢公園（高崎市吉井町矢田）にある地藏菩薩座像（高崎市指定重要文化財）は、南北朝時代につくられたと考えられています（総高86cm、幅56cm）。元々は「矢田字夜明」にあり、「夜明けの薬師」と呼ばれていました。しかし、地域開発が進み損壊の懸念が生まれたことから、地元の住民と吉井郷土資料館友の会が、1985年（昭和60）現在地に移設しました。牛伏砂岩製のため風化を避ける必要から、覆屋が設置されています。このほかにも、周辺には中世につくられたと考えられる石造物が残されています。

問 1 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名信仰には、古くから農業神として、雨乞い祈願の側面があります。おもなものとしては、各村の代表者が榛名神社（高崎市榛名山町）に参拝して、その参道に所在する【ア】から「御神水」をもらいます。そして、それを竹筒に入れて持ち帰り、各村の鎮守などで雨乞い神事を行い、降雨を祈願するというものです。

なお、言い伝えでは、代表者が途中で水を【イ】といわれています。

- ア（1）はんになやぼう般若坊 （2）みそぎ橋
（3）塩原太助の玉垣 （4）萬年泉

〔正解 4〕

- イ (1) 飲んでしまうと、村が水害にあう
(2) こぼすと、その場所で雨が降る
(3) 飲んでしまうと、村が日照りにあう
(4) こぼすと、お金を落とす

〔正解 2〕

●解説

日照りなどで作物が被害を受けることは、農業従事者にとって大問題です。そのため、全国各地で雨乞い神事が盛んに行われてきました。その多くは、地元の村民が参加して地域の鎮守などで雨乞いを行い、それでも雨が降らないときは、村民の代表者（代参）が遠方の雨乞いに「御利益」のある神社などに詣でるというものでした。

雨乞いのおもな方法は、①山上で火を焚く、②神意を慰めるため唄や踊りをする、③水神の住む聖地を汚して神を怒らせる、④神社に籠る、⑤聖地から水をもらう、というものに分類されます。雨乞いの聖地とされるのは、群馬県内では榛名神社、赤城神社、雷電神社、抜鉾神社などがあげられます。

榛名神社の雨乞いについては、渇水の年に代参者が来ると、神社の奥宮への参道の途中にある「萬年泉」から「御神水」を汲みます。これをお札を貼った竹筒や瓶に入れ、降雨を祈願してすぐに地元に戻ります。一方、遠隔地の代参者は、まず榛名神社門前の「御師」の坊に泊まり、翌日祈願して急いで帰ります（途中で休むと効果がなくなります）。また帰る途上でこぼすと、その場所で雨が降ってしまうといわれています。

また榛名神社では、農業従事者の減少と灌漑設備の発達によって現在ではほとんど「降雨祈願」はなくなりました。しかし、電力会社や自治体の水道局などからは、渇水の年、もしくは毎年その代参者が榛名神社に降雨祈願に来るようです。

問 1 3

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

旧暦の10月10日は【ア】といい、その日の夜には餅を搗いて祝いました。麦蒔きなどの秋の農作業が終わったお祝いで、農作業を手伝ってくれた人たちへ餅を配ったり、田んぼの畦に穴を掘って小さく丸めた餅を埋めたりしました。また、里芋の茎を芯にして【イ】を作り、子どもたちが庭や畑を叩いて回りました。

また、この日は石原町にある【ウ】では観音様の祭日で、近郷近在から多くの参拝者が訪れ、大変賑わいました。

- ア (1) トオカセック (2) ヤマジメトオカ
(3) トオカンヤ (4) ヨイマチトオカ

〔正解 3〕

- イ (1) 藁鉄砲 (2) 藁杵 (3) 藁刀 (4) 藁人形

〔正解 1〕

- ウ (1) 慈眼院 (2) 利濟寺 (3) 石昌寺 (4) 清水寺

〔正解 4〕

●解説

旧暦の10月10日(今の暦で11月20日過ぎ頃)は「トオカンヤ(十日夜)」といい、その日の夜に餅を搗いて祝いました。餡を入れた餅で、オコモチとい
います。トオカンヤの餅は麦蒔きなどの秋の農作業が終わったお祝いで、農
作業を手伝ってくれた人たちへ配りました。また、農作業が終わった田んぼ
にモグラやネズミが入って悪さをしないよう、田んぼの畦に穴を掘って小さ
く丸めた餅を埋めたりしました。所謂、収穫祭にあたるもので、春に山から
下りてきて、作物の五穀豊穰を見守ってきた田の神がこの日に山に帰ると考
えられていました。

また、この日、子どもたちが里芋の茎を芯にして藁鉄砲(藁を棒状に束ね
たものの端を輪にして、握り易くしたもの)を作り、庭や田畑の周りを叩い
て回りました。モグラ除けになると言われ、藁鉄砲を地面に叩きつける音が
村のあちこちから聞こえてきました。

また、この日は石原町にある清水寺では観音様の祭日で、今年の収穫に感
謝し、来年の五穀豊穰を祝う人々が近郷近在はもとより、遠く埼玉・新潟な
どからも多くの参詣客が訪れ、大変賑わいました。清水寺近くの農家は遠方
からの参詣客のために臨時のお籠宿となり、接待したといひます。

問 1 4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

関東管領上杉氏と鎌倉公方（古河公方）の足利氏が関東を二分して争った享徳の乱（1454～1483）は、1477（文明9）年に戦局が上野国内に移り、足利氏は【ア】に陣を構えて上杉氏に対抗しました。この年の乱は最終的に翌年の1月に広馬場（榛東村）での対峙の末に和睦しました。こうした乱の中で、【イ】は一族の一部を失いますが、上杉氏を支えた上州一揆の旗頭に成長しました。

ア（1）滝 （2）寺尾 （3）山名 （4）八幡

〔正解 1〕

イ（1）大戸氏 （2）倉賀野氏 （3）長野氏 （4）和田氏

〔正解 3〕

●解説

享徳の乱は関東の戦国時代の幕開けになる乱です。利根川を挟んで、関東管領上杉氏と鎌倉公方（古河公方）の足利氏が、長期にわたって対陣した関東を二分する戦乱です。上杉氏は五十子（埼玉県本庄市）に、足利氏が古河（茨城県古河市）を本拠にしましたが、1477（文明9）年には上杉氏側の長尾景春の反乱に伴い戦局が上野に移り、足利氏が滝（高崎市上滝町・下滝町）に陣を張りました。

こうした戦乱の中で、浜川町周辺を拠点にしていた長野氏は、山内上杉氏を支える西上野の国人を中心に構成される上州一揆の旗頭に成長しました。

問 1 5

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

浜川町の御布呂に長野氏によって開基された【ア】は、長野氏が箕輪城に移ると東明屋に移転し、城主長野氏の祈願所となります。井伊直政が箕輪から高崎へ移城すると高崎城の【イ】として移建され、残された堂宇

は地域の信徒によって護られ布留山潜龍院【 ア 】として続きます。

高崎に移った当寺は代々の城主祈願所とされていきました。明治になると当寺は城主祈願所であったため廃藩と同時に廃寺となり、群馬郡【 ウ 】にあった門末寺の宋慶寺に移され、この二つの寺を合併し布留山清浄光院【 ア 】となりました。

ア (1) 石上寺 (2) 大乘寺 (3) 長年寺 (4) 徳昌寺

〔正解 1〕

イ (1) 鬼門除け (2) 守護神
(3) 札所 (4) 夜蜘蛛除け

〔正解 1〕

ウ (1) 足門村 (2) 保渡田村
(3) 中泉村 (4) 三ツ寺村

〔正解 4〕

●解説

古くから北東（艮・丑寅）の方角を表鬼門（裏鬼門は南西・坤）として万事に忌み嫌い、神仏を祀り、難を避けようとする鬼門除けの風習があります。箕輪の石上寺も箕輪城の鬼門除けとして長野氏が浜川町の御布呂に開基したものを移転させたものです。その後、井伊直政が高崎城を築いた際に、三ノ丸堀の外側の北東にあたる場所に鬼門除けとして移建し布留山性徳院と号しました。高崎へ移建されたあと箕輪に残った堂宇は、地元の信徒によって護られ布留山潜龍院石上寺として続き、高崎の石上寺は直政が佐和山へ転封となった後も代々の高崎城主が祈願所としました。

明治維新前夜、江戸城総攻撃に向かう岩倉具定率いる東山道総督府が高崎に入ると石上寺に本陣を置きました。総督を迎えた高崎藩主松平輝聲は天朝政府への忠誠の証を求められ、石上寺本陣で軍資金と武器・弾薬を提供させられることになります。高崎藩と運命を共にした当寺は、明治になると藩主祈願所であったため廃藩と同時に廃寺となり、群馬郡三ツ寺村にあった門末寺の宗慶寺と合併し、布留山清浄光院石上寺となり今日まで続いています。

布留山清浄光院石上寺（三ツ寺町）



問 1 6

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】は箕輪城主【イ】が1557（弘治3）年、母の17回忌を機に現在地の箕郷町富岡に移転し再建した寺で、長野氏の菩提寺の一つです。再建の際の記録では、現在の高崎市域に加え、渋川市や吉岡町の武士が梁や柱を寄進したとみえ、長野氏の勢力範囲がうかがえます。同寺には市重要文化財に指定されている「【イ】公の像」があります。

ア（1）長純寺 （2）長年寺 （3）来迎寺 （4）龍門寺

〔正解 1〕

イ（1）長野業政^{なりまさ} （2）長野憲業^{のりなり} （3）長野業実^{なりざね} （4）長野業盛^{なりもり}

〔正解 1〕

●解説

箕輪城主の長野氏が関係する寺として石上寺(箕郷町東明屋)や来迎寺(浜川町)などがあります。石上寺は箕輪城の鬼門除けとして建立され、15世紀後半の頃の輪廻の塔や六地藏石幢などの石造物が残っています。来迎寺は長野氏累代の菩提寺として、1319（文保3）年に開基されたと伝えられる時宗の寺です。寺域内には、寺周辺の濠の中に落ちていた石塔を、大正中期に掘りおこし、現地に整理し安置された長野氏累代の墓があります。

長純寺はそうした長野氏に関連する寺の一つで、箕輪城主の長野業政が1557（弘治3）年、母の17回忌を機に現在地の箕郷町富岡に移転し再建した寺で、高さ約35センチメートルの業政の木像が開基堂に安置されています。

問 1 7

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1590(天正18)年、12万石で箕輪城主になった【ア】は、城や城下町を整備し、城の北東に【イ】を創建しました。その後、【ア】は1598（慶長3）年、城を高崎に移して城下町を整備しました。1600（慶長5）年、関ヶ原の戦いで活躍すると18万石に加増され近江国佐和山に移り、

【 ア 】の子の代になると【 ウ 】に城を移し、江戸幕府の大老職を輩出する家として存続しました。

- ア (1) ^{あんどうしげのぶ}安藤重信 (2) ^{い い なおまさ}井伊直政 (3) ^{さかいいえつぐ}酒井家次 (4) ^{ほうじょううじくに}北条氏邦
〔正解 2〕
- イ (1) 安国寺 (2) 石上寺 (3) 大信寺 (4) 龍門寺
〔正解 4〕
- ウ (1) 安土 (2) 大津 (3) 長浜 (4) 彦根
〔正解 4〕

●解説

井伊直政は徳川家康の重臣です。家康が江戸に入ると、直政は関東の北のおさえとして箕輪城に配置され、家康家臣の中では最大石高の12万石の領地を拝領しました。直政は箕輪城の改修や城下町の整備に取り組み、城の北東には龍門寺を創建しています。

直政はさらに1598（慶長3）年、城を和田城があった地に移し、高崎城を築城し城下町を整備しました。こうした直政が行った城づくりや町づくりが今の箕郷地域や市中心部の町並みにつながっていることを考えると高崎の基礎をつくった武将だったともいえます。

井伊家は1600（慶長5）年に佐和山に移り、さらに彦根に移りますが、江戸幕府の大老職を輩出する家であり、そうした大名が高崎に配置されたということも踏まえると、この地が当時重要視されていたことがわかります。

問 18

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎城主酒井家次は、大坂夏の陣に参戦した際に、部隊には直属の藩士の外に高崎の地侍も加えていました。その中の一人【 ア 】が戦いの最中に隊列を離れて敵軍の城中に紛れ込み、櫓に酒井家の旗を押し立て、これを見た徳川方は勇氣百倍、城内へ突入し勝鬨^{かちどき}を上げました。酒井家次は【 ア 】の軍功をたたえ、高崎城下に土地を与えて町名主に任命しました。そのため「人々はこの町を【 ア 】の名前で呼ぶようになった」と伝えられます。

明治になると、この町に群馬県下における最初の銀行【 イ 】が設立されます。同行の創立者の一人【 ウ 】はこの町の出身です。

- ア (1) ^{かじやましよう べ え}梶山庄兵衛 (2) ^{きたづめくぞう}北爪九蔵 (3) ^{すとうしろう}須藤四郎 (4) ^{そりまちぜんぞう}反町善蔵
〔正解 2〕

- イ (1) 勸業銀行 (2) 上州銀行
(3) 第二国立銀行 (4) 横浜興信銀行

〔正解 3〕

- ウ (1) ^{さくら い い へ え}桜井伊兵衛 (2) ^{すとうせいしち}須藤清七
(3) ^{もぎそう べ え}茂木惣兵衛 (4) ^{やすだぜんじろう}安田善次郎

〔正解 3〕

●解説

1604（慶長9）年に下総国臼井城から酒井家次が高崎城二代目城主として入りました。1615（慶長20）年、家次は大坂夏の陣への参戦にあたり、部隊に直属の藩士の外に反町甚右衛門・梶山庄兵衛・須藤四郎兵衛・北爪九蔵ら高崎の地侍も加えました。戦いは両軍入り乱れるほど熾烈を極めましたが、その最中に北爪九蔵は敵軍と共に城中へ紛れ込み、櫓に登って酒井家の旗を押し立てました。これをみた家次は全軍に総攻撃を命じて城へ突入し勝鬨を上げたといわれます。高崎へ凱旋した家次は九蔵の軍功を称え、城下の土地を与えて町名主に任命しました。そのため人々はこの町を九蔵町と呼ぶようになったと川野辺寛著『高崎志』に書かれています。

明治時代になると九蔵町は田町と並ぶ商業の中心地となり、九蔵町の四つ辻に群馬県下最初の銀行である第二国立銀行高崎支店が進出しています。この銀行は同町出身の豪商茂木惣兵衛が創立者の一人です。その後、茂木惣兵衛が率いる茂木財閥の機関銀行である茂木銀行も進出し、この四つ辻に向かい合って建つ姿は高崎近代化を象徴するような様相でした。



九蔵町四つ辻の旧第二国立銀行と
旧茂木銀行

問 19

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】町は、【ア】と呼ばれる^{しよいこ}背負子に、商品を入れて売り歩く行商人が集まった町です。高崎城下町にあった【ア】町は箕輪城の城下から移りました。高崎藩士川野辺寛による【イ】には、城下町の町割りの際に、【ア】町を最初に定め、そこから南北に町割りをしたと記されています。

ア (1) 鍛冶 (2) 鞆 (3) 田 (4) 連雀

〔正解 4〕

イ (1) 『柴田日記』 (2) 『高崎志』
(3) 高崎藩『無銘書』 (4) 『花高堅自記』

〔正解 2〕

●解説

戦国大名が城下町を整備するようになると、城下の大手付近で定期市を開くようになり、そこに連雀商人が集められ町が形成されるようになりました。こうした連雀町は東国の戦国時代末から江戸時代初めに整備された町にみられ、箕輪城と高崎城の城下町にも大手門前に連雀町が配置されました。

特に、高崎城の城下町では、城下町全体の町割りの際に、この町を最初に定めたと『高崎志』に記されているように、城下町整備の中で重要視された町だったといえます。

問 20

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

上野国一社八幡宮（八幡町）に隣接して建つ【ア】は、定弘法師が第84代順徳天皇の病氣平癒を祈祷した際の本尊不動明王を下賜され、当地に下向して開基したと伝えられます。

後に江戸幕府5代将軍となる徳川綱吉が【イ】城主になると、同城内に移った綱吉の生母【ウ】が厚く帰依していた亮賢僧正を招きこの寺

の24世住職に充てました。やがて綱吉が将軍に就くと、【 ウ 】のために江戸に堂宇を建立し、亮賢僧正を招き初代の住職に充てたのが東京都文京区にある大本山護国寺で、【 ア 】が前身といわれます。

- ア (1) 大聖護国寺 (2) 観音護国寺
(3) 天龍護国寺 (4) 弥勒護国寺

〔正解 1〕

- イ (1) 川越 (2) 古河 (3) 館林 (4) 前橋

〔正解 3〕

- ウ (1) ^{けいしょういん}桂昌院 (2) ^{こうだいいん}高台院 (3) ^{せいかんいん}静寛院 (4) ^{てんしょういん}天璋院

〔正解 1〕

●解説

八幡町にある上野国一社八幡宮の東隣に建つ神通山遍照王院大聖護国寺は、徳川家康が1590（天正18）年に発給した制札に「板鼻庄八幡宮大聖護国寺」とあり、江戸時代は八幡宮の別当寺（神社を管理するための寺）を務めていました。この寺院は定弘法師が開基したと伝えられます。定弘法師は、山城国醍醐寺で第84代順徳天皇の病氣平癒の祈祷にあたりと天皇の病が平癒したため、祈祷の折の本尊であった不動明王を拝領して関東へ下向し、この地に当寺を開きました。

当寺は現在東京都文京区にある神齡山悉地院大本山護国寺の前身といわれます。第3代将軍徳川家光の夫人（のち桂昌院）が、亮賢僧正に懐胎の祈願をさせたところ男子を授かり、その子が後に5代将軍となる綱吉といわれます。綱吉は、生母桂昌院が亮賢に篤く帰依していたことから、館林城主のとき大聖護国寺の建替金を下賜し、それと共に亮賢を24世住職に招きました。そして、1680（延宝8）年に将軍に就くと、翌年、幕府の高田薬園の地を与え護国寺を建立し、大聖護国寺から亮賢僧正を招き初代の住職に充てています。



大聖護国寺山門（八幡町）

問 2 1

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

烏川流域に残る江戸時代の「道しるべ」は、商用だけでなく信仰や遊山目的の旅人も多かったことを示しています。

下豊岡八坂神社の「道しるべ」正面に「榛名山 【ア】 かわなか かわらゆ はとのゆ温泉」と方面が記され、左面は「左【イ】 安中 松井田 横川」右面に「従是 神山三里 三ノ倉五里半 大戸九里半」と記しています。

榛名山麓の中室田町字江戸村の「道しるべ」は、1801（享和元）年建立で「右 村みち 左 大さゝ十四里 【ウ】 廿六里 くさ津十四里 はるな二里十八丁」と記しています。

烏川右岸の上里見町字本庄の辻「道しるべ」は、草津道にあり1762（宝暦12）年4月の銘を持つ地蔵尊座像蓮台下の竿石と、同所にある1851（嘉永4）年百番供養塔に「右【エ】道」とあり、この辻が風戸峠^{かざと}を登り南の中山道へとつながる道であることを記しています。いずれも市指定重要有形民俗文化財です。

- ア（１）伊香保温泉 （２）磯部温泉
（３）小野上温泉 （４）草津温泉

〔正解 ４〕

- イ（１）吾妻道 （２）下仁田道 （３）中山道 （４）三国道

〔正解 ３〕

- ウ（１）上田 （２）軽井沢 （３）小諸 （４）善光寺

〔正解 ４〕

- エ（１）赤城 （２）高崎 （３）榛名 （４）妙義

〔正解 ４〕

●解説

烏川流域に残る江戸時代の「道しるべ」は、商用だけでなく信仰や遊山目的の旅人も多かったことを示しています。

下豊岡八坂神社の「道しるべ」正面には、「榛名山 草津温泉 かわなかがわらゆ はとのゆ温泉」と方面が記され、左面は「左中山道 安中 松井田 横川」右面に「従是 神山三里 三ノ倉五里半 大戸九里半」と記し、温泉地と

道筋を案内しています。

榛名山麓の中室田町字江戸村の「道しるべ」は、1801（享和元）年建立で「右 村みち 左 大さゝ十四り 善光寺廿六り くさ津十四り はるな二り十八丁」と記しています。

烏川右岸の上里見町字本庄の辻「道しるべ」は、草津道にあり1762（宝暦12）年4月の銘を持つ地藏尊座像蓮台下の竿石と、同所にある1851（嘉永4）年百番供養塔に「右妙義道」とあります。この辻が風戸峠を登り南の中山道へとつながる道であることを記しています。

いずれも市指定重要有形民俗文化財です。

問 2 2

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代の中頃になると人々の旅行熱が高まり、遠くに出かけることが多くなったため、旅人に向けた道中案内の出版が盛んになりました。

中山道を経由して善光寺へ参詣する旅人を対象として刊行された『諸国道中商人鑑（商家高名録）』には中山道の宿場であった倉賀野宿や高崎宿にあった店が紹介されています。倉賀野宿にあった食事処堺屋（図1）では「御茶漬」「御料理」と並んで、名物の【ア】が提供されていました。また、高崎宿あら町にあった鯨屋（図2）は【イ】を買い求める人で賑わう店の様子が絵入りで紹介されています。

三国街道筋の宿場を紹介した『諸国道中商人鑑（諸業高名録）』には、【ウ】にあった松屋（図3）が宿の高札場の様子やその前を行き交う人々とともに描かれています。

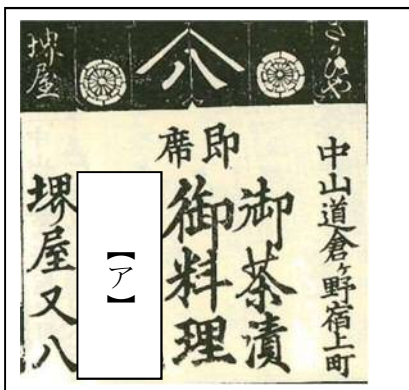
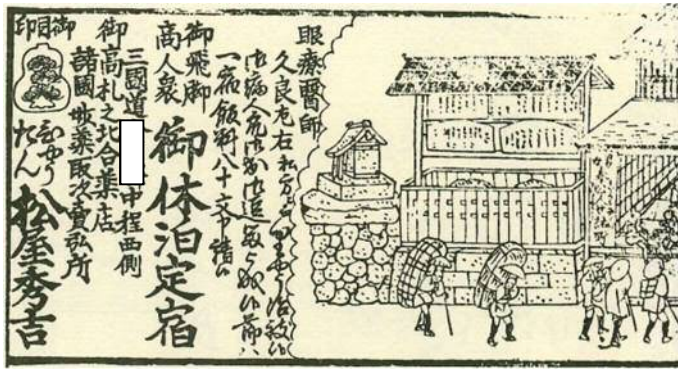


図 1



図 2



※図1～3 『商家高名録・諸業高名録』
(みやま文庫) から引用

図3

- ア (1) ウナギ蒲焼 (2) 焼き鳥
(3) 鯉あらい (4) タケノコ煮付け

〔正解 1〕

- イ (1) 和菓子 (2) 煙草 (3) 目薬 (4) 呉服

〔正解 2〕

- ウ (1) 金井宿 (2) 石塚宿 (3) 棟高宿 (4) 金古宿

〔正解 4〕

●解説

『諸国道中商人鑑』の冒頭には「道中駅々の旅籠屋や諸々の商家等を掲載することを旨とするが、神社・仏閣・名所・古跡はいうまでもなく、最寄りの脇道まで商家・名物・名産などを何くれとなくのせる」と記され、旅行者に街道沿い、脇道沿いの様々な情報を提供することを目的として、1827(文政10)年に刊行されたものを初めとします。

中山道の宿場として、市内では新町宿、倉賀野宿、高崎宿にある商家が紹介されています。



倉賀野（倉ヶ野）宿では10軒の店が紹介されています。ウナギ（鰻）蒲焼を提供する店として堺屋（図1）のほかに、戸塚屋の店の様子が中山道を通る人々と共に絵入りで掲載されています。

高崎宿では商業都市としての賑わいを裏付けるように、53店もの商家が紹介されています。江戸時代、煙草の産地として有名で、「館（館）たばこ」（寺尾町・農大二高の裏手）「光台寺たばこ」（山名町）のブランド名で広く取り引きされていました。



図2では、客で賑わう鯨屋の店の様子が描かれています。街道を行き交う人々とともに店で煙草を買い求める客が見えます。暖簾の下、右端には「名葉 高崎阿ら町一丁目 館須切 於ろし 小うり くじらや藤吉」、左端には「御進物箱詰たとう 高崎阿ら町壱丁目 當國本場館葉煙草刻問屋 紙包御望次第 鯨屋藤吉」とあります。

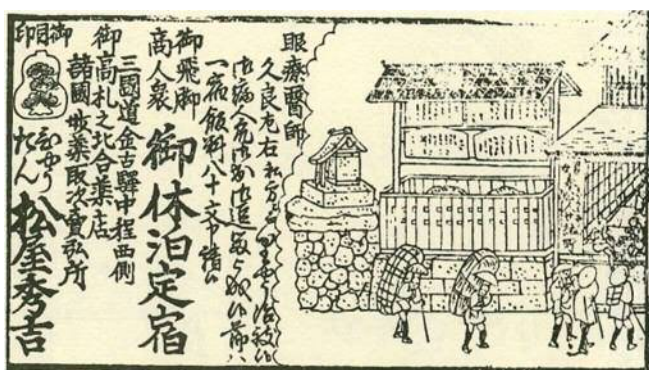


図3は三国街道筋にあった金古宿の松屋です。

ここでは店舗の様子は描かれず、代わって宿の高札場の様子が描かれています。飛脚や商人の休泊定宿であるとし、場所は「金古驛中程西側」で、高札の北にあると記しています。

高札場を描くことで初めて訪れる旅人にも店の場所を分かり易く伝えています。

問 2 3

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

18世紀後半から19世紀初頭にかけて高崎藩は、和歌が盛んでした。藩主【ア】は徳川将軍9代家重・10代家治の二代にわたり幕府の要職を歴任すると共に歌人としても令名が高かった方で、家臣の【イ】は歌道宗匠れいぜいためむら冷泉為村から門下第一と評された人物です。両人が主導した文芸活動の一端が、【ウ】への奉納和歌の数々から彷彿されます。京都の公家衆や諸大名・幕臣などを一堂に会した豪華な顔ぶれの奉納もあり、研究者たちから高崎藩の文芸史を飾る華麗な遺産と賞されています。

- ア (1) あんどうしげひろ 安藤重博 (2) まつだいらのぶおき 松平信興 (3) まつだいらてるたか 松平輝高 (4) まなべあきふさ 間部詮房
 イ (1) いちかわいちがく 市川一学 (2) ながさかはちろう 長坂八郎 (3) みやべよしまさ 宮部義正 (4) よこはままさとも 横浜正倫
 ウ (1) 愛宕神社 (2) 熊野神社 (3) 諏訪神社 (4) 頼政神社
- 〔正解 3〕
 〔正解 3〕
 〔正解 4〕

●解説

高崎藩は、藩主が松平（大河内）輝高の代から輝延の時代、1749（寛延2）年から1825（文化12）年にかけて和歌が大変盛んでした。その背景には二人の人物が影響しています。

一人は藩主輝高です。大河内家が遠祖とする源頼政は弓馬の道に秀でた武人にして、勅撰和歌集に何十首も載るほどの優れた歌人でした。その影響から輝高も馬術を得意とし歌人としても令名が高く、大名としては江戸幕府9代将軍家重・10代将軍家治の二代にわたり老中を務め、諸侯や幕臣との深い交流がありました。

もう一人は輝高の家臣にして歌人宮部義正です。義正がいたため多くの高崎藩士が和歌を詠む風土となり、また、中央にあっては江戸堂上派歌壇の中核的存在でした。歌道宗匠冷泉為村（上冷泉家15代・同家中興の祖）から門下第一と称される逸材で、最後には高崎藩を致仕し幕府の和歌所に仕え、将軍の歌道師範に転じています。

輝高と義正の江戸での文芸活動を彷彿させる数多くの和歌が頼政神社に奉納されています。中には京都の公家衆や幕閣に名を連ねた諸大名・幕臣な

どを一堂に会した豪華な顔ぶれの奉納和歌も納められています。高崎藩の文芸史を飾る華麗な遺産であると同時に、江戸堂上派歌壇の研究の上でも大変貴重な資料であると、研究者から高い評価を得ています。



著名な大名の歌が並ぶ
頼政神社奉納和歌

問 2 4 次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

現在の箕郷地区にあたる群馬郡【ア】村の名主・下田連蔵漆園は、江戸時代後期の著名な文化人であったことでも知られています。彼は、同時代に中央で活躍した【イ】の市河寛斎・米庵らとともに、『全唐詩逸』という書籍を出版しました。同書は、中国大陆で失われてしまった唐の時代の詩を集めたもので、清国の学者にもその業績を高く評価されています。

ア (1) 西明屋 (2) 西国分 (3) 西島 (4) 西横手
〔正解 1〕

イ (1) 歴史家 (2) 画家 (3) 戯作者 (4) 書家
〔正解 4〕

●解説

江戸時代、安房国（千葉県南西部）にあった勝山藩の酒井氏は、上野国も領地を持っていました。その支配のため、同藩は、榛名白川の右岸にある群馬郡白川村（高崎市箕郷町白川）に陣屋を設置していました。陣屋において

地元の代官を勤めていたのが、その対岸に位置する同郡西明屋村（同市箕郷町西明屋）の下田氏でした。

下田氏は地域の開発権を使って土地を集積し、酒造業も行ういわゆる豪農でした。当主は「連蔵」を名乗りましたが、このうち江戸時代中後期に活躍した下田連蔵知広は「漆園」と号し、文化活動を活発に行ったことで知られています。また漆園は、漢詩や儒学に造詣が深く、吉田芝溪（渋川）、高橋道斎（下仁田）など近隣の在村学者とも交流しました。

一方で、南牧出身の書家で漢詩人の市河寛斎は、日本の漢詩を網羅する『日本詩紀』を編纂する中で、これまで知られていなかった中国唐代の詩があることに気づきました。寛斎は子の米庵とともに、これを『全唐詩逸』として下田漆園などの助力のもとに印刷することができました（文化元年）。

その後『全唐詩逸』は、長崎から中国・清に渡り、地誌学者の翁広平、蔵書家の鮑廷博の手にするところとなりました。当地には、既に清の康熙帝の勅命による『全唐詩』（900巻）がありましたが、翁公平・鮑廷博は、『全唐詩逸』をその欠損を補うものとして高く評価し、彼らの『知不足齋叢書』に入れて出版しました。やがて寛斎没後の1828年（文政11）には、同書が日本に里帰りします。米庵は出版から清へ渡った事情を加えて再び刊行したため、『全唐詩逸』は国内で広く知られるようになったのです。このような文化の逆輸入は、上野三碑の一つ多胡碑が、東アジアで評価・周知されたことに、よく似た事例といえるでしょう。

問 2 5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

今から155年前、1868（慶応4）年8月26日深夜、暴風雨の中、一艘の船【ア】が銚子黒生浦ちょうしくろばえうらに漂着したとの知らせが高崎藩の飛び領である銚子領の銚子陣屋に入ります。実はこの船は戊辰戦争に際して榎本武揚が率いる旧幕府側の脱走艦隊でした。新政府側の高崎藩はそれを知らずに彼らを丁寧に対応しました。連絡系統が機能していなかった混乱期の当時の高崎藩の立ち位置を知る興味深い事件です。

銚子領のほかに高崎藩の飛び領として、野火止領と【イ】があります。

ア (1) 咸臨丸 (2) いろは丸 (3) 美加保丸 (4) 銚子丸
〔正解 3〕

イ (1) 一ノ木戸領 (2) 川越領 (3) 村上領 (4) 御殿場領
〔正解 1〕

●解説

それは今から155年前のことです。1868（慶応4）年8月26日深夜、暴風雨の中、一艘の船が銚子黒生浦に漂着したとの知らせが村役人によって当時高崎藩の管轄であった銚子陣屋に入ります。直ちに銚子陣屋役人（高崎藩士）が現場に駆け付け、取り調べたところ船の名前は「美加保丸」、乗組員は時化のため疲労困憊の様子でした。しかし、その夜は風が吹きすさび、波が高かったので、その混乱の中、乗組員が何処から来た人なのか、また何名の者たちなのかなどは確認できませんでした。そのため陣屋役人は風や波が静まるのを待つことにして一旦銚子の陣屋に引き返しました。

実はこの船は戊辰戦争に際して榎本武揚が率いる旧幕府側の脱走艦隊でした。新政府側の高崎藩はそれを知らず、本来なら見つけ次第取り押さえるべきだったのに、乗組員の「駿府表に向かう予定であったが、嵐のため漂着しました」という言葉を信じて彼らを丁寧に接遇しました。

これは連絡系統が機能していない混乱期だった当時の高崎藩の立ち位置を知る興味深い事件です。

ちなみに慶応4年9月17日、この責任を追及された最後の高崎藩主の大河内輝聲は謹慎を命じられています。

また高崎藩の飛び領として有名なのは、この下総国海上郡の銚子領のほか、越後国蒲原郡の一ノ木戸領、そして武蔵国新座郡の野火止領がありました。

問 2 6

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

群馬県最初の民権結社と言われる【ア】は旧高崎藩士族を中心に結成されました。社長の【イ】は高崎藩重臣の家に生まれ、18歳のとき下仁田戦争に従軍しています。廃藩置県後は三重県や熊本県に勤務しましたが、帰郷して県庁に入り学務課長などを歴任しました。その後、師範学校長となりますが、数年で辞職し、民権運動に邁進し【ウ】創立に尽力し幹事になりました。同党決死隊のリーダーとして群馬事件をはじめ福島事件や秩父事件に関係し、密偵殺害事件教唆の嫌疑で収監されたりもしています。晩年は衆議院議員を一期務めました。生涯、薩長藩閥政治に立ち向った民権運動の闘士と言われています。

ア (1) 共同社 (2) 上毛社 (3) 親交社 (4) 有信社

〔正解 4〕

イ (1) 板垣退助^{いたがきたいすけ} (2) 中島信行^{なかじまのぶゆき} (3) 深井卓爾^{ふかいたくじ} (4) 宮部 襄^{みやべのぼる}

〔正解 4〕

ウ (1) 国民党 (2) 自由党 (3) 民主党 (4) 立憲党

〔正解 2〕

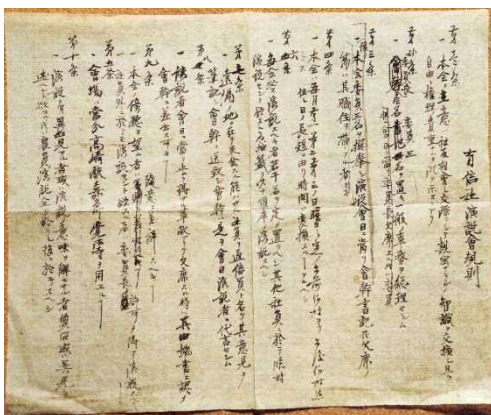
●解説

1877(明治10)年7月に高崎藩士族を中心に有信社が設立されました。設立当初は旧高崎藩士の互助会的性格の団体でしたが、2年後、宮部襄が中心となり民権運動の結社として活発な運動を展開するようになります。群馬県内では最も早く設立され、県を代表する民権政社といわれます。

社長に就いた宮部襄は高崎藩重臣の家に生まれ、藩政時代には18歳で下仁田戦争に従軍し、明治になると血気盛んな改革精神から、高崎知藩事である大河内輝聲を引退させ弟の輝剛を擁立するため岩倉具視ら新政府の中心人物へ働きかける事件を起こしたりしています。

成人してからは群馬県庁に勤務し学務課長などを歴任、師範学校長になり同盟休校(ストライキ)に適切な処置を行っています。1879(明治12)年には有信社を民権結社とし、若手の旧藩士らと民権運動に邁進し、やがて自由党の設立に尽力するや同党決死隊のリーダーとして、群馬事件、福島事件、秩父事件に直接、間接に関与するなど、群馬・埼玉両県の自由党員に与えた影響は大きいものがあります。照山峻三殺害事件(自由党員が探偵の風評の

あった照山を殺害)の教唆者として嫌疑を掛けられ収監されましたが恩赦で出獄、1902(明治35)年と1903年の総選挙では大河内輝剛と争い落選しますが、1904年の総選挙では当選し政友会に属し衆議院議員を1期務めました。



右：宮部襄
左：「有信社演説会規則」

問 2 7 次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎最初の小学校は1873(明治6)年に創立されました。当初この小学校は【ア】が開いた私塾「積小館」を利用していました。【ア】は最後の高崎藩主大河内輝聲の招請を受け藩校【イ】の文学教授に迎えられ、多くの門弟を育てています。その生活は質素で異常なまでの儉約家であったため「けちんぼ先生」と呼ばれるほどでしたが、1876(明治9)年に本格的な小学校校舎の建設が始まると、建築費4472円は輝聲公の500円をはじめ多くの篤志家の寄付によりました。【ア】は「金は活かすために蓄える」ことを弟子たちに示し、蓄財1000円を率先して寄付したと伝えられます。こうして高崎最初の小学校である【ウ】小学校の校舎が新築されました。

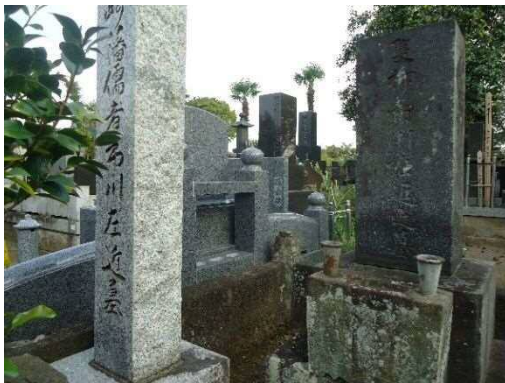
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| ア (1) ^{いちかわさ こん} 市川左近 | (2) ^{つみたつじ} 堤辰二 | (3) ^{はら こ へ え} 原小兵衛 | (4) ^{ふかいかげかず} 深井景員 |
| [正解 1] | | | |
| イ (1) 弘道館 | (2) 時習館 | (3) 明倫館 | (4) 文武館 |
| [正解 4] | | | |
| ウ (1) 赤坂町 | (2) 新町 | (3) 鞆町 | (4) 下横町 |
| [正解 3] | | | |

●解説

高崎市に最初に設立された小学校は、1873（明治6）年5月7日に市川左近の私塾「積小館」につくられた鞘町小学校です。設立順でいえば群馬県下では7番目という早い時期に設立されました。現在の高崎市立中央小学校の前身で、中央小学校は今年開校150周年を迎えました。

このとき創立された多くの小学校は寺院を校舎として始まりましたが、1877（明治10）年1月、旧高崎藩の祈願所で廃寺となっていた石上寺跡地（現・東京電力）に本格的な建築になる校舎を持つことが出来ました。建築費は総額4472円で、高崎藩最後の藩主大河内輝聲公の500円をはじめ有志者の寄付が3100円あり、中でも市川左近の1000円が特筆されます。

左近は山形県の出身で、輝聲公に藩校文武館の文学教授として招聘された人物です。廃藩置県で藩校は閉じられましたが、私塾積小館を経営し多くの門弟を育てました。生活は質素で、異常なまでの儉約家であったため「けちんぼう先生」と渾名されるほどでしたが、1000円の寄付はお金の使い道について弟子を始め町民の方々に範を示したと伝えられています。



市川左近の墓
（若松町竜広寺墓地内）

問28

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

まつもとまたたろう

松本亦太郎は我が国の有名な心理学者です。帝国大学（現東京大学）を卒業後、エール大学、ライプツィヒ大学に学びました。日本の心理学の祖といわれ、【ア】を創設し、初代会長になりました。

松本亦太郎は旧高崎藩士の飯野翼の二男で、1880（明治13）年に【イ】

町長をした松本勘十郎の松本家に養子として、勘十郎の娘、松本糸とキリスト教式の結婚式を行いました。

実は小説家の【 ウ 】とは一高・東京帝大時代からの親友でした。【 ウ 】の書いた短編『琴のそら音』に登場する心理学者として、津田真方つだまかたの名で登場します。

- ア (1) 上毛心理学会 (2) 日本心理学会
(3) 高崎心理学会 (4) 帝国心理学会

〔正解 2〕

- イ (1) 倉賀野 (2) 安中 (3) 吉井 (4) 箕輪

〔正解 1〕

- ウ (1) 芥川龍之介 (2) 森鷗外
(3) 津田左右吉 (4) 夏目漱石

〔正解 4〕

●解説

まつもとまたたろう
松本亦太郎(1865～1943)は高崎で生まれた我が国の有名な心理学者です。帝国大学(現東京大学)を卒業後、エール大学、ライプツィヒ大学に学びました。1913(大正2)年東京帝国大学教授。京都、東京の両帝国大学に日本最初の心理学実験室をつくり、精神動作学を提唱したほか、航空心理、芸術心理など応用心理学の領域をも開拓し、日本の心理学の祖といわれています。また心理学の進歩普及を図ることを目的として1927(昭和2)年日本心理学会を創設し、初代会長になりました。

松本亦太郎は旧高崎藩士の飯野翼の二男で、1880(明治13)年に倉賀野町長をした松本勘十郎の松本家に養子として、勘十郎の娘、松本糸とキリスト教式の結婚式を行いました。

ところで松本亦太郎は、『吾輩は猫である』『坊ちゃん』などで有名な明治の文豪、夏目漱石(1867～1916)とは一高・東京帝大時代からの親友でした。漱石の書いた短編小説『琴のそら音』に登場する心理学者として、津田真方つだまかたの名で登場します。

問 29

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

明治天皇新町【ア】は1878（明治11）年、明治天皇の北陸・東海道巡幸の折り、新町屑糸紡績所を行幸した際の宿泊施設として建設されました。施設は【イ】に面して正門を設け、周囲は高さ9尺の総板塀で囲われていました。また、翌1879（明治12）年、英照皇太后の伊香保行啓の際にも宿泊所に使われました。

その後、【ア】は新町役場や公民館として利活用されますが、現在は市の史跡に指定され、保存管理されています。

ア（１）行在所 （２）御用邸 （３）御小休所 （４）茶屋本陣
〔正解 １〕

イ（１）中山道 （２）日光例幣使道
（３）銅街道^{あかがね} （４）鎌倉街道
〔正解 １〕

●解説

明治天皇新町行在所は1878（明治11）年、明治天皇の北陸・東海道巡幸の折り、新町屑糸紡績所を行幸した際の宿泊施設として建設されました。行在所の候補地となった新町宿本陣が西に偏した場所にあったことから、副戸長の高橋均作が町の中央部にあった宅地306坪を寄付した場所に建てられました。施設は中山道に面して正門を設け、周囲は高さ9尺の総板塀で囲われていました。木造の平屋建てで、御座所(8畳)、次の間(8畳)、控えの間(8畳・10畳)の4室のほか、浴所と浄所を備え、玄関から畳敷の廊下で、各部屋が結ばれていました。また、翌1879（明治12）年、英照皇太后の伊香保行啓の際にも宿泊所に使われました。

その後、新町警察署、新町役場や公民館などの公共施設として利活用されますが、現在は行在所公園と名付けられた一角にその一部が残されていて、毎年2月上旬から3月3日に開催される「新町ひなまつり」のメイン会場として利活用されています(高崎市指定史跡)。

なお、新町、玉村町間の烏川に架けられた木橋は明治天皇の北陸・東海道巡幸に際し、随行した岩倉具視の名に因み、岩倉橋と名付けられました。

問 30

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

今年は関東大震災発生から100年になります。1923（大正12）年9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9の関東大震災が起こって、東京・横浜を中心に関東一円と山梨・静岡両県に被害が生じました。

9月3日未明より、高崎駅に到着する避難民の数は次第に多くなってきました。この時避難民への救護活動への協力がさかんに行われました。

この時県内では高崎へ避難した者が最も多く、12,460名にのぼりました。

一方、9月1日の関東大震災に際しては、翌2日深夜から3日未明にかけて、臨時編成の列車で【ア】全員が東京へ向かい、戒厳令下の首都の警備にあたりました。

また、高崎市役所の『震災救護記録』によると、9月3日午後2時ごろ、【イ】がその極に達し、市当局は市民の不安の一掃を最緊急要事と判断しました。

- ア（1）高崎市役所職員 （2）歩兵第十五連隊
（3）警察署員 （4）第一師団

〔正解 2〕

- イ（1）二次災害 （2）物価高騰
（3）感染拡大 （4）流言飛語

〔正解 4〕

●解説

2023（令和5）年は関東大震災が発生してちょうど100年目の節目の年でした。1923（大正12）年9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9の関東大震災が起こって、東京・横浜を中心に関東一円と山梨・静岡両県に被害が生じました。死者・行方不明者は14万人以上、全壊・全焼家屋は57万戸以上にのぼりました。

高崎では、高崎板紙会社の大煙突2本が中央から折れて転落し、上州絹糸紡績会社をはじめ各工場の大小煙突が倒壊しました。土壁や石垣が崩れることはありましたが住宅の倒壊や死傷者などではなく、被害は他地域に比べ少なかったようです。そのことから群馬県方面などへ難を逃れてくる人も多かったようです。

9月3日未明より、高崎駅に到着する避難民の数は次第に多くなってきました。この時避難民への救護活動への協力がさかんに行われました。

群馬県内に避難した人々は全体で4万2773名、このうち、高崎へ避難したものが最も多く、1万2460名にのぼりました。(県立文書館資料)

こうして高崎市にとっては、避難民に対する救護が大きな課題となり、高崎市役所・在郷軍人分会・青年団・高崎中学校・商業学校・女学校・婦人会・宗教団体・医師会などの各組織が協力しての救護活動が始まりました。

一方、9月1日の関東大震災に際しては、翌2日深夜から3日未明にかけて、臨時編成の列車で歩兵十五連隊が東京へ向かい、戒厳令下の首都の警備にあたりました。

また、高崎市役所の『震災救護記録』によると、9月3日午後2時ごろ、「流言飛語」がその極に達し、市当局は市民の「不安ノ一掃」を最緊急要事と判断し、各区長に対して「無根の風説」に惑わされることのないよう、「人心の安定」を確保するよう通達しました。しかしこれに付け足して自警団などを指示した文面が書き添えられたため、かえって不安を煽ることになりました。

問 3 1

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1893（明治26）年、三国街道に沿う高崎と渋川の間に【ア】馬車鉄道が開業しました。資金難であったため、廃止となった碓氷馬車鉄道株式会社の線路や車両などの諸設備を買収して経費を抑え、工事が行われました。

その後、1910（明治43）年には電化工事が行われ、高崎と渋川間に電車が走るようになりました。また、信越本線の線路との平面交差を避けるため、飯塚駅（現北高崎駅）の東側に【イ】と呼ばれる築堤が造られ、立体交差によって線路を横断するよう工夫されていました。やがて、東武鉄道株式会社に経営が移りますが、一時は年間14万人余りの乗客があり、人々の足として重宝された路面電車も老朽化が進む中、1953（昭和28）年に廃止となってしまいました。

路面電車が走っていた頃の様子を辿ることは難しくなっていますが、大橋町には三国街道から分かれて【イ】に続く軌道の跡（下図）が残っています。現在、ここは【ウ】として利用されています。

申請から短期間で開通できた背景には碓氷馬車鉄道で使われていた線路、車両などの一切を転用できたことによります。当初、馬車鉄道は飯塚駅(現北高崎駅)の西側で官設鉄道の線路と平面交差していましたが、1910(明治43)年、電化工事が行われ、電車が走るようになると、飯塚駅の東側に電車山と呼ばれる築堤が造られ、立体交差で線路を横断するようになりました。

人々の足として重宝された路面電車でしたが、施設の老朽化が進む中、1953(昭和28)年に廃止となりました。廃止から70年が経ち、電車が走っていた頃の様子を辿ることは難しくなりましたが、電車山に続く旧軌道の一部が「電車通り公園」として整備され、緩やかにカーブした軌道を偲ぶことができます。また、西小学校の校庭の一角には軌道に敷かれていた敷石が移設され、展示されています。

問 3 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎自然歩道は岩野谷丘陵に整備されたハイキングコースで、山名から少林山まで全長22キロメートルのコース上にはユネスコ「世界の記憶」に登録された山上碑や金井沢碑、山名城址、根小屋城址などがあります。

コース上の「山名御野立所跡」は【ア】場所です。その際、高崎の産業人・井上保三郎は天皇に単独拝謁しました。かねてより観光や戦没者慰霊などを掲げて【イ】を考えていた井上は実現に向けて動き始めました。

- ア (1) 鉄道開通の際、明治天皇が汽車が走るのを観覧した
(2) 明治天皇が国立屑糸紡績所へ行幸された際に立ち寄られた
(3) 昭和天皇が飛龍の松を植樹された
(4) 昭和9年の陸軍特別大演習に昭和天皇が臨場した

〔正解 4〕

- イ (1) 高崎えびす講市の開催 (2) 英霊殿の建立
(3) 観音山公園整備や観音像の建立 (4) 病院の創設

〔正解 3〕

●解説

高崎自然歩道は、山名から少林山までの全長約22キロメートルで、自然や歴史に触れながらウォーキングを楽しむことができます。山名八幡宮から忠霊塔を過ぎ、山上碑方向に歩くと「山名御野立所跡」の碑があります。

1934（昭和9）9年11月11日から13日まで群馬県を中心に栃木、茨城、埼玉の4県で、陸軍特別大演習が行われました。高崎市南部の烏川周辺一帯で師団による東軍・西軍の演習があり、山名八幡宮後背の丘陵地に昭和天皇の野外統監部が置かれたことを記念し、山名御野立所跡の碑が建てられました。この陸軍大演習に備えて道路整備なども行われ、観光面でも高崎に大きな利益をもたらしました。

昭和天皇は前橋行在所で単独拝謁、列立拝謁をし、高崎で単独拝謁に浴したのは山浦市長ら8人で、井上保三郎も含まれていました。保三郎は拝謁できたことを機に、観光都市高崎の建設・陸軍十五連隊戦死者の慰霊・社会の平安などを祈願し白衣大観音を建立しました。白衣大観音は1936（昭和11）年に完成し開眼式が行われました。

問 3 3

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

群馬県立榛名高等学校は1940（昭和15）年に開校した室田高等【ア】に始まります。地域における中等教育の創始を目指し、当初は烏岸五か町村（室田、里見、久留馬、倉田、烏淵）による組合立が計画されましたが、財政状況から実現せず、最終的に室田町による単独設立となりました。

しかし、議会の議決を経たものの、室田町も財政が厳しく、学校を建てる余裕がなかったことから、校舎は【イ】の講堂の払い下げを受け、その他の資金の多くは【ウ】で賄い、開校にこぎつけることができました。

- | | |
|-----------|-----------|
| ア（１）実践女学校 | （２）甲種商業学校 |
| （３）裁縫学校 | （４）看護学校 |

〔正解 1〕

- イ (1) 歩兵第十五連隊 (2) 高崎幼稚園
(3) 高崎高等女学校 (4) 高崎中学校

〔正解 4〕

- ウ (1) 寄付金 (2) 銀行融資 (3) 地方債 (4) 交付金

〔正解 1〕

●解説

1920(大正9)年、実業学校令および実業補修学校規定が改正され、実業補修学校の設置主体の範囲が広げられ、職員の名称・待遇が中等学校に準ずるものとされました。これと軌を一にするように、義務教育修了後の男女青年に対する教育の強化・充実が叫ばれ、室田町では実業補修学校の充実を図るとともに、室田町を中心とした烏岸五か町村(室田・里見・久留馬・倉田・烏淵)を通学区とする中等学校設立を求める声が高まりました。

中等学校の設立は時期尚早であるとして実現には至りませんでした。幾多の挫折を経て町単独で女子中等学校を設立することが決議され、開校に向けた準備が始まりました。この中心となって事業を推進したのが当時町長であった宮下貞三でした。開校に関わる建設資金は全額寄付金で賄うこととしましたが、趣旨に賛同する有志からの多額の寄付をうけ、区民からも寄付が寄せられるようになり、女子中等学校建設に向けた資金が集まったことから、1939(昭和14)年になって、ようやく校舎の建設工事が始まりました。

翌年、完成した学校は「群馬県室田高等実践女学校」と命名され、室田を中心とした女子中等教育がスタートしました。その後、「町立群馬県室田高等実践女学校」「町立室田高等女学校」「県立室田高等女学校」(この時から県立に移管)「県立室田高等学校」「県立榛名高等学校」と校名が変わりましたが、現在、男女共学の普通高校として榛名地域を中心に多くの卒業生を送り出しています。

問 3 4

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市を通る国道17号は日本海と首都圏を結ぶ日本の大動脈で、東京・日本橋から新潟県新潟市までの約349キロメートルです。国道17号は、高崎市の君が代橋で【ア】や国道354号と接続しています。

国道などの主要道路は、歴史的な街道を踏まえていることもあり、国道17号（日本橋～高崎）と国道18号は中山道を元に整備され、高崎市から茨城県鉾田市を結ぶ国道354号の一部は【イ】が含まれています。

都市間交通の需要の高まりと渋滞解消のため、主要幹線はバイパス化等が進み、国道17号では、1966（昭和41）年に高前バイパス、1982（昭和57）年に倉賀野バイパス、2008（平成20）年に主要地方道藤木高崎線（和田橋）との立体交差【ウ】が整備されました。

- ア（１）国道18号 （２）国道50号
 （３）関越自動車道 （４）上信越自動車道

〔正解 1〕

- イ（１）三国街道 （２）日光例幣使道
 （３）下仁田街道 （４）十国街道

〔正解 2〕

- ウ（１）君が代橋ジャンクション （２）城南大橋
 （３）高松立体 （４）中村交差点立体

〔正解 3〕

●解説

上佐野から城南球場の横を通して君が代橋につなぐ新道路が1951（昭和26）年に完成しました。

国道17号、国道18号、国道354号の結節点となる君が代橋の渋滞は激しく、バイパス化と立体交差化の工事が進められました。

高前バイパス、倉賀野バイパスが順次開通しましたが、国道17号和田橋交差点は、県内一の渋滞交差点で、ラッシュ時のピークでは最大渋滞延長1.9キロメートル、通過に12分かかっていました。また、市街地方面から観音山方向に向かう県道高崎藤木線も、国立高崎病院から高松交差点にかけて、慢性的な渋滞が続いていました。

高松立体は、和田橋交差点を立体化し慢性的な渋滞を解消し、都市交通の向上を図るために計画されました。工事区間は宮元町から並榎町の1.6キロメートルで平成12年度に着手しました。烏川護岸工事や和田橋拡幅工事、切回し道路整備など、国道17号の通行を確保しながら工事を行ってきたため、長期を要し、2008（平成20）年1月に開通しました。

問35 次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎線・信越本線は、明治10年代に敷設されました。その基本経路は、およそ江戸時代の【ア】をたどるものとして計画されました。

以下は群馬県内の信越本線の駅名（令和5年現在）です。

・高崎―【イ】―（新駅）―【ウ】―安中―磯部―松井田―西松井田―横川

令和8年度には【イ】、【ウ】間に新駅が開業する予定です。

ア（1）三国街道 （2）東海道 （3）中山道 （4）信州街道
〔正解 3〕

イ（1）問屋町 （2）北高崎 （3）南高崎 （4）根小屋
〔正解 2〕

ウ（1）板鼻 （2）南八幡 （3）群馬八幡 （4）熊ノ平
〔正解 3〕

●解説

19世紀、鉄道は欧米列強の重要な社会インフラとしての役割を果たしていました。明治新政府もこれを取り入れ、東京と大阪・京都を結ぶ路線を敷設しようとしています。当初、2つの経路（東海道と中山道）が考えられました。特に中山道に沿った路線は、経済的に遅れていた山間部を発展させようとする観点（山間部は外国からの攻撃を受けにくいという考え方もあった）から、鉄道敷設の当初より強く主張されました。これは、イギリス人技師のボイルによる現地調査においても、同様の考え方が示されました。

1884（明治17）年高崎線の上野～高崎間が開通し、高崎駅を東の起点として（西の起点は岐阜県大垣駅）、中山道鉄道が着工されました。翌年、高崎～横川間が開通すると、上信県境の碓氷峠は、難所のため「碓氷馬車鉄道」が繋がりました。

一方で、東京と日本海の港湾都市、特に新潟と結ぶことが重要視されると、中山道鉄道の支線が計画されました。軽井沢から北国街道に沿って上田～長野へ進み、直江津へ至るというものでした。これが信越本線の原型となっています。

1893（明治26）年横川～軽井沢間が開通し、東京と日本海側が結ばれます。碓氷峠にはアプト式蒸気機関車が導入されるようになり、やがて電化され、アプト式も解消していきます（1997年、新幹線開通により横川～軽井沢間は廃線）。

信越本線のうち、1885（明治18）年高崎～横川間開通の年に開業した駅は、北高崎（当初は飯塚）、安中、磯部、松井田でした（高崎駅は前年に開業）。その後、1924（大正13）年に群馬八幡、1965（昭和40）年に西松井田の各駅が開業しています。なお1906（明治39）年に開業した熊ノ平駅は、1966（昭和41）年に廃止となりました。

令和8年度には北高崎～群馬八幡駅間に豊岡新駅（仮）の開業が計画されています。

問36

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

群馬交響楽団は、県内各地や東京公演など県外でも多様な演奏活動を行っています。

本拠地高崎では、今シーズン10回の【ア】や元旦コンサート、学生のためのコンサートなどがありますが、2022（令和4）年からG Tシンフォニックコンサートという演奏会シリーズが加わりました。

さらに2019（令和元）年にスタートした群響メンバープロデュースによる小編成アンサンブル演奏会は、群響【イ】という名称のシリーズで、さらなる演奏活動の飛躍を目指しています。

- ア (1) 高崎劇場演奏会 (2) 定期演奏会
(3) 高崎演奏会 (4) 群響高崎公演

〔正解 2〕

- イ (1) 特別編成演奏会 (2) 小編成演奏会
(3) 室内楽演奏会 (4) 室内楽特別演奏会

〔正解 3〕

●解説

群馬交響楽団、NHK交響楽団等で定期演奏会と称しているのは、Subscriptionを訳したものです。高等学校の演奏会などでも定期演奏会とありますが、この習慣を流用したものでしょう。少し、意味が違っているかもしれません。

群馬交響楽団は新しい楽しみ方として、群馬交響楽団の楽員が交代で室内楽の演奏会をプロデュースして、楽員による小編成の室内楽の演奏会を開催しています。これが「群響室内楽演奏会」です。

問37 次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎芸術劇場は【ア】年開館、設備の水準が高く評価され連日利用されています。

劇場の役割は、劇場の企画事業、アーティストとの共同企画事業、貸ホール事業とあります。

ライブの共同企画では、民間の【イ】と提携し、ピアニストのボブ・ジェームス氏、ベーシストのロン・カーター氏などを招聘しました。

- ア (1) 2015 (平成27) (2) 2017 (平成29)
(3) 2019 (令和元) (4) 2021 (令和3)

〔正解 3〕

- イ (1) 東京ビルボード (2) 六本木バーランド
(3) 新宿ピットイン (4) ブルーノート東京

〔正解 4〕

●解説

劇場の役割は、劇場が企画し運営する事業・劇場の利用者との共同事業があります。

これは高崎という街の文化をある面で特徴づけ、市民の意向に答える意味があります。

他に貸しホールとしての役割がありますが、劇場側はその利用目的が劇場の本来の役割と異なる場合、受け付けないケースがあります。

問38

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

横須賀市民の保養施設として建設された【ア】はその後、倉渕村に譲渡され、現在市有施設として、倉渕ふるさと公社によって、管理運営されています。美肌の湯として知られる天然温泉は茶褐色をした【イ】で、体の芯から温まることから、冷え性の改善に効果があると言われています。

- ア (1) 観山荘 (2) はまゆう山荘
(3) ゆうすげ荘 (4) 相間川温泉

〔正解 2〕

- イ (1) 単純温泉 (2) 硫黄泉 (3) 含鉄泉 (4) 酸性泉

〔正解 3〕

●解説

「はまゆう山荘」(倉渕町川浦)は1987(昭和62)年に横須賀市市制施行80周年記念事業の一環として建設されました。北欧のシャトーやスペイン風のパドールを思わせる石造りの建物は日本建築学会長賞を受賞していますが、重厚感のある外観は訪れる人を異空間、別世界へと誘います。

その後、2005(平成17)年に旧倉渕村に譲渡されますが、現在は市有施設として、倉渕ふるさと公社によって管理運営されています。近くにはオートキャンプもできるわらび平森林公園キャンプ場があり、本格的なアウトドア体験をすることができます。

山荘敷地内の源泉から汲み上げられた天然温泉は濃い茶褐色をした含鉄泉で体の芯から温まることから、冷え性の改善に効果があるほか、肌の老廃物を取り除き、ツルツルした肌を作る効果があると言われています。

宿泊に際して、高崎市民割引の特典があり、通常の料金から1050円の割引を受けられるほか、国民健康保険、後期高齢者医療保険加入者は加えて2000円の割引を受けられることから、合計3050円の割引になります。

問 39

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

近年、高崎の食文化を発信する取り組みが注目されています。毎年、高崎市内で行われる【ア】は、高崎まつりの一部門からスタートし、来場者による投票で競う人気イベントになっています。

また、人気のホルモン焼きやもつ煮の材料である【イ】の高崎エリアにおける生産量は全国屈指を誇っています。

- ア (1) ビール祭り (2) キングオブパスタ
(3) キングオブピザ (4) 餃子フェスティバル

〔正解 2〕

- イ (1) 鶏肉 (2) 豚モツ（白モツ）
(3) 牛モツ (4) ネギ・こんにゃく

〔正解 2〕

●解説

キングオブパスタは、2009（平成21）年に高崎まつりのイベント「テイストオブたかさき」の企画として青年団体のアイデアと運営により始まりました。高崎の新しい魅力づくりを創出するのが目的で、行列ができるほど好評となりました。翌年の第2回から単独イベントになり、マスコミでも注目されています。1万人の来場者を集め、高崎を代表する食のイベントとなりました。

佐波郡玉村町の株式会社群馬県食肉卸売市場の令和2年度の取引頭数は肉豚が57万3811頭、肉牛が1万2756頭で、肉豚は全国に26カ所ある食肉卸

売市場の中で第1位、肉牛は第6位の実績を持ち、良質な食肉を流通させています。豚モツでは高崎市内の業者が大きな比重を占めており、全国トップの生産量といえます。味付けの豚ホルモンは、戦後、高崎市内に開業した金華亭がこの地域のルーツで、市民に愛され、高崎を代表する食文化の一つとなりました。有志により、ホルモンをテーマにしたまち映画「泣いて笑って豚ホルモン」が2022(令和4)年に制作、公開されました。

問40 次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

本年5月19～21日広島市で開催された「G7広島サミット」に先立ち、4月29・30日に高崎市で主要7ヵ国の国際会議、【ア】大臣会合が開催されました。

会議内容は、人間のように自然の文章や画像をつくりだす【イ】をめぐる規制について、立場の異なる日米欧が緩やかな連携をめざすものでした。声明では、規制を巡る政策の違いは認めた上で、技術や制度を評価するための共通基準をつくり、倫理的で透明性の高い責任ある【イ】の実現を目指すことが表明されました。

- ア (1) 科学技術 (2) 気候・エネルギー・環境
(3) 司法 (4) デジタル・技術

〔正解 4〕

- イ (1) AI (人工知能) (2) 気候・エネルギー・環境
(3) 外交 (4) 法

〔正解 1〕

●解説

本年5月19～21日広島市で開催された「G7広島サミット」に先立ち、4月29・30日に高崎市で主要7ヵ国の国際会議、デジタル・技術大臣会合が開催されました。

会議内容は、人間のように自然の文章や画像をつくりだすAI (人工知能)

をめぐり規制について、立場の異なる日米欧が緩やかな連携をめざすものでした。

声明では、規制を巡る政策の違いは認めた上で、技術や制度を評価するための共通基準をつくり、倫理的で透明性の高い責任ある AI（人工知能）の実現を目指すことが表明されました。

高崎学検定委員会